

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 40 回通常総会

平成 27 年 5 月 27 日（水） JICA 市ヶ谷ビル



報告書目次

平成 26 年度役員、顧問・参与一覧	2
平成 26 年度事業報告	3
平成 27 年度事業計画	33
平成 27 年度収支予算	45
第 40 回通常総会議案書	
第 1 号議案	
平成 26 年度決算承認の件	47
公益目的支出計画実施報告書	53
監査報告書	54
第 2 号議案	
役員の新補充に関する件	55

1	会長	足立房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	副会長	山本信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局長
4	常任理事	松岡和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	理事	大貫康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
6	理事	奥永眞智子	一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	理事	尾関史生	株式会社セキュリティ新聞社代表取締役
8	理事	重 政子	認定 NPO 法人「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議代表理事
9	理事	島田 茂	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
10	理事	嶋田実名子	公益財団法人花王芸術・科学財団常務理事
11	理事	田中 潮	日本青年団協議会事務局長
12	理事	土井 章	国際航業株式会社執行役員・海外事業部長
13	理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
14	監事	白山 肇	大東文化大学環境創造学部教授、富山県青年海外協力隊を育てる会会長
15	監事	中村義人	公認会計士、東洋大学経営学部非常勤講師

平成 26 年度顧問・参与一覧

16	顧問	三浦朱門	元日本藝術院長、作家
17	顧問	宮崎幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
18	顧問	黒河内康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
19	顧問	山本保博	医療法人社団大坪会東和病院院長
20	参与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
21	参与	小川一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会副会長、茨城県議会議員
22	参与	杉下恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
23	参与	高橋成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
24	参与	西川政善	徳島文理大学大学院総合政策研究科教授、元小松島市長
25	参与	吹浦忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
26	参与	森高康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
27	参与	横尾賢一郎	一般社団法人日本経済団体連合会国際協力本部長

※嶋田実名子理事は公職就任のため 2014 年 11 月退任

平成 26 年度事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

昭和 40 年 4 月に青年海外協力隊が発足してまもなく 50 周年を迎えます。昨年 11 月、この大きな節目に、当会は青年海外協力隊員、公益社団法人青年海外協力協会とともに読売国際協力賞（特別賞）を受賞する栄誉に預かりました。もちろん主役は長きにわたり活動を積み重ねてきた協力隊員たちですが、裏方である育てる会の活動に対しても評価をいただき、全国の育てる会の皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。そして、これからも「協力隊に参加しやすい社会」を目指して参りたいと思います。

平成 26 年度におきましても、会員、各県組織、そして関係者の皆様のご支援をいただきながら多くの活動を展開して参りましたので、ここにご報告いたします。

1. 全国の組織化と情報共有

1 月に静岡県、3 月には奈良県に育てる会組織が設立、全県組織化まで残すところあと僅かとなりました。また、「新春の集い」と全国代表者会議の併催が定着、より多くの方にご参加いただき、真剣な意見交換ができる場となりつつあります。そして、宮城県の震災復興活動報告会や山形県のスタディツアー、北陸ブロック会議等の各県組織のイベントに社団からも積極的に参加、育てる会ニュース等で紹介して参りました。Facebook 等のソーシャルメディアを活用した広報活動も始めましたが、全国の皆様と今後どう情報共有していくか、新たな課題も生まれました。

2. 「内から外へ」と会員拡大

昨年度より開始した「サポート事業」は 2 年目を迎えました。まだ僅かではありますが、就職支援や葬儀支援の実績も生まれました。また、婚活支援は予想以上の関心の高さに関係者を驚かせました。理屈ではなく、まずはサービスを実感していただくことの大切さを感じた年となりました。一方、「視察の旅」と「スタディツアー」の一体的運用については、一般の方にも興味を持っていただけるよう企画したものの、実施には至らず課題を残す結果となりました。また、地域祭礼、国際交流イベント等にも積極的に参加、ライオンズクラブや連合、障害者スポーツ協会等の団体とも関係を深め、外部との関係も着実に広がりつつあります。

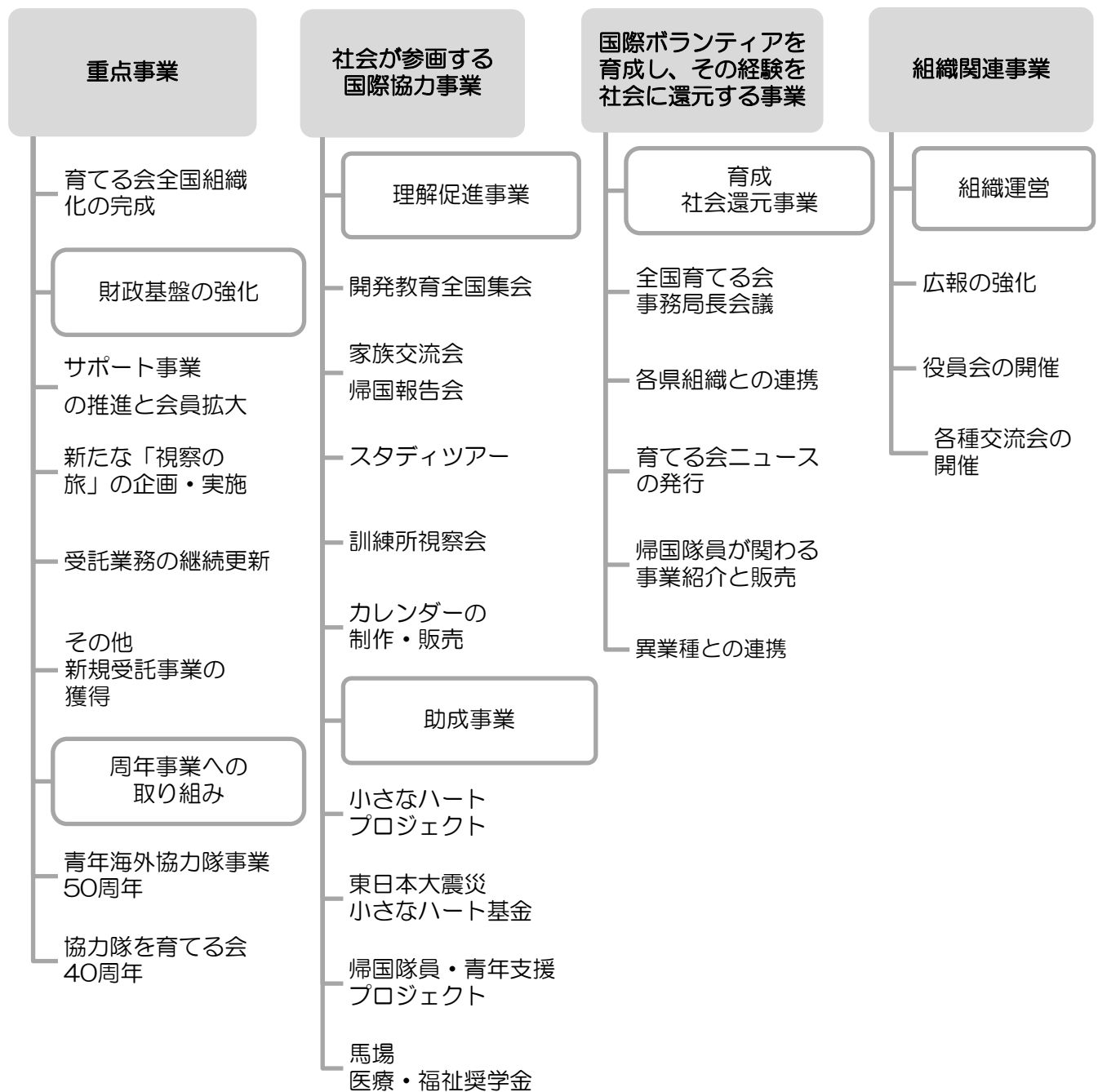
3. 財政基盤の強化

3 年ごとに行われる「クロスロード」編集受託業務を落札、財政基盤を守るとともに、新たな受託業務も落札することもできました。新規受託業務の落札は、財政強化への自信となりましたが、いずれも単年度契約のため安定的な収入源確保が今後の課題です。

最後に、本年度より当会では、協力隊事業 50 年の軌跡をまとめるべく記念誌作成の準備を開始いたしました。協力隊 50 周年（平成 27 年）、育てる会 40 周年（平成 28 年）の節目を機に、より一層協力隊事業の価値を広く社会に伝えて参りたいと思いますので、今後とも皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。



平成 26 年度事業報告

【重点事業】

1. 育てる会全国組織化の完成を目指す

「協力隊の応援団」として日本全国から支援の声を発することができるよう、未組織の 4 府県（京都府、奈良県、静岡県、神奈川県）にて組織化を進めた。

1) 静岡県

(1) 設立に向けた準備確認の打ち合わせ

日 時 : 9月11日(木) 11:00~12:00、11月11日(火) 18:00~19:00

場 所 : 育てる会事務局、東京會館

出 席 : 小野田全宏氏 (NPO 法人静岡県ボランティア協会常務理事)
足立会長、奥永事務局長、伊藤部長

概 要 : 会則・役員案、発会式日程等の確認

(2) 発会式の開催

名 称 : ふじのくに静岡・協力隊を育てる会 (45 番目)

日 時 : 1月24日(土) 15:00~19:00

場 所 : 設立総会及び記念講演会> 勤労者総合会館 3 階ロッキーマウンテン大会議室
設立記念パーティー> 静岡県男女共同参画センター“あざれあ”6 階小ホール

概 要 : 川勝平太氏 (県知事) による特別記念講演

備 考 : 設立後、JICA ボランティア家族連絡会 (2月21日)、JICA の夕べ (3月13日)、平成 26 度 4 次隊壮行会 (3月19日) 等へ参加

【役員一覧】

1	会長	木苗直秀	静岡県立大学学長
2	理事	天野 一	静岡日タイ協会会長、静岡県議会議員
3	理事	池富 彰	連合静岡会長
4	理事	伊藤克彦	青年海外協力隊 OB (昭和 48 年度 2 次隊)
5	理事	イシカワ・エウニセ・アケミ	静岡文化芸術大学准教授
6	理事	岩崎清悟	一般社団法人静岡県経営者協会会長
7	理事	小川晶央	元静岡県青年海外協力隊 OB 会会長
8	理事	小野田全宏	NPO 法人静岡県ボランティア協会常務理事
9	理事	小村隆史	常葉大学富士キャンパス社会環境学部准教授
10	理事	下澤 嶽	静岡文化芸術大学文化政策学部教授
11	理事	鈴木滋彦	静岡大学副学長 (国際戦略担当)

12	理事	鈴木壽美子	静岡県文化協会会長
13	理事	高木桂蔵	静岡県立大学名誉教授
14	理事	永江史朗	静岡県 JICA シニア海外ボランティア協会会長
15	理事	満井義政	公益財団法人就職支援財団理事長
16	理事	山口祐子	公益財団法人静岡県国際交流協会会長
17	理事	山本敏博	社会福祉法人聖隷福祉事業団理事長
18	監事	レシャード・カレッド	NPO 法人カレーズの会 理事長
19	監事	藤井祐介	静岡県青年海外協力隊 OB 会 会長

2) 奈良県

(1) 設立に向けた準備確認の打ち合わせ

日 時 : 11月25日(火) 16:00~

場 所 : ホテル日航奈良

出 席 : 乾昌弘氏(株式会社明新社代表取締役社長)、安曾田眞由美(同総務課長)
 中川直子氏(株式会社奈良テレビコミュニケーションズ代表取締役社長)
 大上薫氏(同取締役業務・放送部長)
 伊藤隆司氏(株式会社飛鳥荘代表取締役)
 近池日出夫氏(元協力隊家族)
 足立会長、伊藤部長

概 要 : 設立発起人との顔合わせ及び設立総会のロードマップ確認等

(2) 設立総会の開催

名 称 : 奈良 JICA ボランティア応援団(46番目)

日 時 : 3月11日(水) 17:00~20:00

場 所 : 旅館飛鳥荘「白鳳の間」

概 要 : 福井智一 OB(H23-1/環境教育/ケニア)による帰国報告会

備 考 : 設立後、平成26年度4次隊県知事表敬訪問(3月19日)へ参加

【役員一覧】

1	顧問	荒井 正吾	奈良県知事
2	会長	乾 昌弘	株式会社明新社代表取締役社長
3	副会長	伊藤 隆司	株式会社飛鳥荘代表取締役
4	副会長	小林 茂樹	三和住宅株式会社代表取締役会長
5	副会長	辻本 俊秀	奈良テレビ放送株式会社代表取締役社長
6	副会長	中川 直子	株式会社奈良テレビコミュニケーションズ代表取締役社長

7	理事	緒方 賢史	みかさ法律事務所所長
8	理事	小尾 二郎	奈良県青年海外協力協会会長
9	理事	阪口 博明	建築士
10	理事	田中 純	田中屋
11	理事	近池日出夫	元協力隊員家族
12	理事	西灘 久泰	灘小路株式会社代表取締役社長
13	理事	増尾 朗	株式会社奈良自動車学校代表取締役社長
14	理事	松本真理子	マリンバ奏者
15	理事	横井 雄一	奈良市議会議員
16	理事	吉田 泰造	株式会社関西工務店代表取締役社長
17	監事	杉下 成之	杉下税務会計事務所所長
18	事務局長	安曾田眞由美	株式会社明新社総務部長



3) 神奈川県

(1) 組織化に向けた協力ならびに中心人物となる人材紹介依頼

日 時 : 1月26日(月) 15:40~16:10

場 所 : 神奈川県庁知事室

出 席 : 黒岩祐治(神奈川県知事)、脇雅昭(同県民局くらし県民部国際課長)
山本顧問、足立会長、伊藤部長

概 要 : 育てる会の概要説明、神奈川県組織化に向けた人材紹介の依頼

(2) 設立支援の協力要請

日 時 : 2月23日(月) 13:30~15:30

場 所 : 星槎学園大磯キャンパス

出 席 : 宮澤保夫(星槎グループ会長)、井上一(星槎グループ本部長)
足立会長、伊藤部長

概 要 : 育てる会の概要説明、組織化への協力依頼

4) 京都府

(1) 組織化に向けた協力要請及び意見交換

日 時 : 11月26日(水) 11:00~

場 所 : 国立京都国際会館、株式会社京つけもの西利本店

概 要 : 木下博夫氏(京都国際会館館長)との意見交換及び関係者への挨拶等

(2) 組織化準備メンバーとの進捗確認及び意見交換

日 時 : 3月12日(木) 13:00~13:30

場 所 : 株式会社西利本店

出 席 : 平井誠一氏(株式会社京つけもの西利代表取締役社長)

並川洋介氏(株式会社天空 PR 代表取締役)

足立会長、伊藤部長

概 要 : 組織設立のスケジュール確認、役員体制案等

(3) 京都 OB 会メンバーとの組織化に向けた意見交換

日 時 : 3月12日(木) 14:00~15:30

場 所 : 島津プラザビル御池クリニック内

出 席 : 福岡正行氏(元京都青年海外協力協会会長)

足立会長、伊藤部長

概 要 : 京都における OB 会活動の状況等

2. サポート事業と会員拡大の推進

帰国隊員とその支援者の人生をサポートするという趣旨の下、「就活・婚活・終活」等の福利厚生事業を展開し、会員拡大に努めた。

1) サポート会員制度

「就活・婚活・終活」等の福利厚生サービスを個人正会員に付与するとともに、新規加入者の入会促進を行った。

(1) 会員数 : 600名(正会員526名/個人52名/2団体22名)

(2) サポートサービスによる儀式施行件数: 3件

2) 帰国隊員への就職支援事業

就職を希望する帰国隊員に対し、カウンセリングを行うとともに民間企業へ紹介した。

(1) 職業紹介希望登録

登録数 : 6名

備 考 : 電話、メールによる問合せ多数

(2) 当会の斡旋による就職決定および内定決定

紹介数 : 9名

内定数 : 7名

就職数 : 4名

就職先 : 環境関連企業（事務職）、IT 企業（技術職）、語学関連企業（通訳・翻訳）

(3) 広報活動

・メールリスト、Web、SNS による情報発信

3) 帰国隊員への婚活支援事業

結婚を希望する帰国隊員を中心に、以下のとおりイベントを開催した。

(1) 「婚活 BBQ パーティ in 新木場」

日時 : 9月27日(土) 12:00~16:00

場所 : 新木場公園(東京都江東区)

参加数 : 61名(女性34名/男性27名)

備考 : 青年海外協力隊東京OB会と協働



(2) 「婚活お花見! at 井の頭公園」

日時 : 3月28日(土) 13:00~

場所 : 井の頭公園(東京都武蔵野市)

申込数 : 26名(女性13名/男性13名)

4) 会員拡大

協力隊家族をはじめ、当会事業と関わりのある個人・団体・法人に入会促進を行った。

(1) 会員状況

	昨年度3月末	3月31日現在
個人会員	575名	526名
団体会員	101団体	105団体
法人会員	35法人	38法人
全国育てる会会員数	3,118名(法人団体含む)	3,526名(法人団体含む)

(2) 団体・法人の新規入会

団体 : 和泉ロータリークラブ、公益財団法人日本ユースリーダー協会、
世界平和女性連合東京第一連合会、NPO 法人一新塾

法人 : 株式会社日本美健総合研究所、アイ・シー・ネット株式会社、
株式会社ティックス

3. 「視察の旅」と「スタディツアー」の一体的運用

協力隊員の家族を中心に実施してきた「視察の旅」に、「スタディツアー」参加者を加えて一体的運用することで、催行人数を満たしより多くの国で実施できるよう、新たに大手旅行会社との連携によって企画内容の充実化とより幅広い方々の参加に努めた。

1) 「視察の旅」の企画・実施

協力隊家族や関係者を対象に、現場視察を通じて協力隊事業の理解者を増やし支援の輪を広げることを目的に以下のとおり実施した。

企画国数：37ヶ国

参加人数：59名

催行決定：6ヶ国

国名	日程	参加者数
ウガンダ	8月19日(火)～29日(金)	6名
ボリビア	8月26日(火)～9月4日(木)	9名
タンザニア	10月19日(日)～29日(水)	9名
マラウイ	10月29日(水)～11月8日(土)	14名
セネガル	11月4日(火)～13日(木)	17名
ラオス	11月5日(水)～13日(木)	4名



2) 新たなスタディツアー「視察の旅プラス」の企画・実施

協力隊家族だけでなく一般の希望者も参加できるよう、旅行会社と提携し募集型企画旅行を企画したが、いずれも定員に達せず実施には至らなかった。

企画国数：4ヶ国

企画内容：国ごとに隊員 OBOG が関わるフィールドスタディをテーマに設定

国名	テーマ
グアテマラ	「グアテマラの伝統を体感。ilo itoo のものづくりを訪ねる旅」
フィリピン	「フェアトレードの視点からフィリピンの社会問題を考える9日間」
モロッコ	「JICA 事業に学ぶ。女性の自立を支援するプロジェクト」
ブルキナファソ	「途上国×スポーツ×人材育成とは」

3) 第9回スタディツアーの企画・実施

育てる会設立30周年を記念して始まった9回目のスタディツアーを企画、申し込みも定員に達し催行決定となったが、現地情勢の悪化により中止とした。

企画国名：バングラデシュ

実施期間：2月8日(日)～14日(土)

申込数 : 17名

催行状況: ハルタル(現地ストライキ)のため実施を延期したが好転が見込めず中止

4. 受託事業の継続と新規案件の獲得

来年度更新となる JICA 受託事業の継続契約を確実なものにするため、現業務を確実に遂行するとともに次回公示に向けた準備・対策を行った。また、省庁を問わず当会の専門性を活かせる様々な案件に対し積極的に入札参加することにより、財政基盤の強化に繋がった。

1) 継続案件

(1) JICA ボランティア「BOP ビジネス及び特産品開発への貢献」事例集作成業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 企業と JICA ボランティア向けの「BOP ビジネス」事例集の編集・発行

契約 : 9月15日(月)、業務終了に伴い契約満了

(2) 2015年度～2017年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール

「クロスロード」の編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集・発行
(年15号/増刊3号含む)

公示 : 12月4日(木)

提案提出 : 1月13日(火)

開札 : 2月4日(水)

結果 : 継続受託

契約額 : 157,241,820円

契約期間 : 2015年2月20日～2018年3月30日(3年間)

(3) 平成24、25、26年度 JICA ボランティア帰国後事務手続き業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行等の事務手続き、カウンセラー業務補助等

契約 : 2012年4月2日～2015年5月31日(3年2ヶ月)

委託元の都合により、契約変更(2ヶ月延長)

(4) 平成24年度～平成26年度 JICA ボランティア事業広報記事作成に係る業務委託

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : JICA ボランティアに関する各種広報記事の作成

契約 : 3月31日(火)、業務終了に伴い契約満了



2) 新規受託

(1) 2014 年度大学生フィールド・スタディ・プログラム運営事務局業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 日本大学生のグローバル人材育成を
目的としたフィールドスタディ演習

公示 : 7月18日(金)

提案提出 : 8月13日(水)

開札 : 8月28日(木)

結果 : 新規受託

契約額 : 34,162,560 円

契約期間 : 2014 年 9 月 1 日～2015 年 5 月 29 日

備考 : 公益財団法人日本ユースリーダー協会と共同体を結成し実施



5. 青年海外協力隊設立 50 周年、協力隊を育てる会 40 周年への取り組み

青年海外協力隊設立 50 周年を次年度に控え、育てる会の持つ経験や情報を活かし記念誌の作成を JICA 青年海外協力隊事務局に働きかけた。また 50 周年誌作成と同時に再来年度の育てる会 40 周年を見据えて資料の収集を始めた。

1) 「青年海外協力隊 50 周年記念誌」の制作

テーマ : 「記録から見える協力隊の成果」「記憶に残る ODA = 協力隊」

概要 : 協力隊の記録を体系的に整理・分類し、現地に息づく隊員の軌跡、社会還元に取り組む帰国隊員の活動事例を洗い出し、協力隊事業の成果を再確認するとともに、これからの協力隊の在り方を考える基礎資料とする。

2) 「育てる会 40 周年記念式典」等の企画検討

(1) 記念式典の開催

2016 年 5 月の実施を検討中。

(2) 支援者等への感謝状授与

受領者の受領者を選定中。

(3) 記念冊子の発行（地域社会にて活躍中の帰国隊員を紹介）

協力隊 50 周年記念誌制作と並行し素材集めを実施中。

【社会が参画する国際協力事業】

理解促進事業

1) 読売国際協力賞特別賞の受賞

青年海外協力隊員、公益社団法人青年海外協力協会と合わせて、栄誉ある本賞を三者にて合同受賞。全国育てる会を代表し贈賞式に出席した。

日時：11月11日(火) 18:00~20:00

主催：読売新聞社

場所：東京會館

参加者：約300名(福島、埼玉、千葉、山梨、広島、徳島、高知、福岡の育てる会各県組織ほか支援者等も参加)



2) 第25回開発教育全国集会 in 東京

協力隊事業を通じた国際理解と協力隊経験の社会還元を広く市民に周知・理解していただく場として、昨年度に続き「新春の集い」「全国事務局長会議」と併せて開催した。

日時：1月21日(水) 13:00~17:00

テーマ：国づくり・人づくりの経験が日本を変える

～発足50年を迎えた青年海外協力隊への期待～

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

後援：外務省、独立行政法人国際協力機構

場所：アジュール竹芝(東京都港区)

参加数：約100名

【プログラム】

<基調講演>

演目：「取材現場から見た協力隊の活動と課題」

講師：岩田公雄氏

(読売テレビ放送報道局特別解説委員)

<シンポジウム>

テーマ：「協力隊経験が活かせる社会づくりに必要なこと」

ファシリテーター：岩田公雄氏

パネリスト：織田峰彦氏(一般社団法人青年海外協力隊プラザ・大阪会長)

山本保博氏(東京臨海病院顧問、一般社団法人協力隊を育てる会顧問)

家田敦彦氏(56-1/理数科教師/マラウイOB、元飯南町議会議員)

村松まさみ氏(18-1/青少年活動/ニジェールOG、小平市議会議員)



3) 家族交流会・帰国報告会

協力隊事業の理解普及を目的に、協力隊家族をはじめ将来協力隊参加を志す学生、また社会貢献団体等を対象に帰国隊員の報告会を開催した。

(1) 協力隊を育てる会「家族交流会」の開催

①第1回

主催：一般社団法人協力隊を育てる会
共催：JICA 地球ひろば
開催日：7月17日（木）18：00～19：30
場所：JICA 市ヶ谷
テーマ：「隊員に会いに行こう！」



現地の生活を知りたい、訪問したい家族のための説明会」

参加者：32名

②第2回

主催：一般社団法人協力隊を育てる会
共催：JICA 地球ひろば
開催日：12月13日（土）16：30～18：30
場所：JICA 市ヶ谷
テーマ：「エスニック・ティー・パーティー～家族交流サロン」
参加者：4名

(2) 帰国報告会

①他団体での開催

主催：日本橋ライオンズクラブ定例会
日時：6月26日（木）18：00～20：00
場所：ロイヤルパークホテル
講師：松舘文子（63-1/人形製作/タイ）
概要：ツバル国の環境保全と啓発活動について

(3) 隊員活動についての寄稿

掲載紙：FEC NEWS（月1回発行）
発行：民間外交推進協会
テーマ：「協力隊に見る日本の若者の姿」
概要：帰国隊員が現地の活動について執筆

3) 学生向けスタディツアーの企画・実施

異文化・国際理解教育に関心のある教育機関等を対象に、協力隊員の活動現場を視察するスタディツアーを実施した。

(1) 山形県庄内町青少年海外研修事業

- 主 催 : 山形県庄内町、同教育委員会
- 対 象 : 山形県庄内町の中学生・高校生 9 名
- 期 間 : 12 月 20 日 (土) ~25 日 (木)
- 場 所 : マレーシア・サバ州
- 概 要 : 協力隊活動視察、環境保全活動体験等
- 参 加 : 学生 9 名、引率 2 名、富岡職員



4) 訓練所視察会の企画・実施

JICA の“訓練所から世界が見える”訪問プログラムを活用し、グローバル人材育成や異文化・国際理解教育に関心のある教育機関を対象に、JICA 二本松訓練所の体験・視察会を企画・実施した。

(1) 二本松訓練所視察会

- 主 催 : 日本外国語専門学校
- 対 象 : 同校学生
- 期 間 : 2015 年 3 月 4 日 (水) ~5 日 (木)
- 概 要 : 語学訓練体験、異文化理解カワークショップ等
- 参 加 : 同校学生 40 名、引率教師 1 名、藤澤職員

5) 「協力隊を育てる会カレンダー」の制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から写真を提供いただき、途上国や協力隊事業の理解促進を目的に制作・販売。特に、全国育てる会には各県組織名を印字したオリジナル版制作に協力いただき、全国規模での広報を実施することができた。

- テーマ : 未来 (あす) への笑顔
- 仕 様 : A4 横/フルカラー/14 枚綴り (28P)
オリジナル名入れ印字
- 制作数 : 15,000 部
- 価 格 : 1 部 1,000 円 (税込)
会員価格 1 部 700 円
多部購入 1 部 500 円
- 販売数 : 約 13,000 部



助成事業

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、青年海外協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高めた。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

申請件数：10 件

支援件数：9 件（1 件については支援不可）

支援総額：2,311,740 円

審査：申請毎に審査員による書類審査

審査員：審査員長 ▶ 松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

審査員 ▶ 島田茂（同理事）、杉下恒夫（同参与）

【小さなハートプロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	出身 県名	送金日	プロジェクト名	支援額 （円）	支援者名（円）
1	長澤真衣子（24-2） 保健師 ジブチ	兵庫	5/12	町の病院の水道・トイレ整備 プロジェクト～衛生環境を整 え人々により健康な生活を～	150,742	ひょうご応援団・愛 知県支援する会・野 田愛司様
2	増矢幸子（24-3） 助産師 グアテマラ	徳島	6/26	母子の命を守る 保健センターに水を！！	289,423	徳島県育てる会・隊 員家族(匿名)・山本 高久様 ほか
3	福田雄大（24-3） 建築 ブータン	長崎	10/16	子供たちに笑顔を！ 老朽公園復活プロジェクト	299,909	国際ソロプチミス ト東京一山の手・長 谷川雅之様 ほか
4	西 梨月（24-3） 看護師 ネパール	群馬	9/16	フェディコラ村孤児院 設立プロジェクト	300,000	群馬県育てる会・電 力総連・ネパール会
5	川原 翼（25-1） 小学校教諭 グアテマラ	兵庫	10/20	未来の先生たちが学ぶ 校舎のトイレに水道設備を	271,666	ひょうご応援団・ 電力総連
6	河野洋一郎（24-4） 建築 バングラデシュ	千葉	11/28	子どもたちに安全な学習環 境を!!ボガイバリ村学校建 設プロジェクト	100,000	千葉県育てる会・ チャリティゴルフ
7	中村 愛（25-1） 村落開発普及員 ネパール	北海道	12/12	雨水利用による 溜池灌漑整備	300,000	北海道育てる会・網 走市役所内支援団 体・ネパール会

	氏名（隊次） 職種 派遣国	出身 県名	送金日	プロジェクト名	支援額 （円）	支援者名（円）
8	幡手洋祐（25-3） 村落開発普及員 ソロモン諸島	埼玉	11/28	Guguha 小学校 トイレットプロジェクト	300,000	幡手隊員家族および知人等
9	西村 緑（24-3） 村落開発普及員 ルワンダ	熊本	1/23	ルワマガナの小学校に トイレを建設	300,000	熊本県育てる会、熊本市役所
支援総額					2,311,740 円	

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災の復興支援活動をはじめ、その経験をもとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動に対し支援を行った。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

申請件数：4 件（内 1 件支援不可）

支援件数：3 件（内 1 件は平成 27 年度送金予定）

支援総額：564,064 円

審 査：申請毎に審査員による書類審査

審査員：審査員長>松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

審査員 >島田茂（同理事）、小川一成（同参与）

【小さなハート基金支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	プロジェクト名（実施県）	実施団体等	支援額（円）
1	高橋昭博（9-1） 農業協同組合 タイ	南相馬市の除染作業（福島県）	青年海外協力隊 栃木県 OB 会	264,064
2	鈴木恵美子（6-1） 洋裁 バングラデシュ	ミシンでお仕事プロジェクト（宮城県）	南三陸ミシン工房	300,000
3	田中紗和子（23-1） 作業療法士 ニカラグア	「心も身体もほっかほかだ～」 プロジェクト（福島県）	JOCV リハビリテーション ネットワーク	平成 27 年度 送金予定 (300,000)
支援総額			564,064 円	

3) 帰国隊員/青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の助成のもと、帰国隊員の国際協力活動等を支援した。また、これまでの受給者にプロジェクトの実施状況や、給付後の進路等についてアンケートを実施した。

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

支援金額：1案件につき上限500,000円

申請件数：25件（協力活動9件、調査研究16件）

支援件数：8件（協力活動5件、調査研究3件）

支援総額：2,980,000円（昨年辞退者：夙幸世分280,000円を含む）

選考時期：選考委員会を10月9日（木）に開催 於 JICA 地球ひろば

選考委員：委員長▶松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

委員▶小沢良明（公益財団法人三菱UFJ国際財団専務理事）

三次啓都（JICA 青年海外協力隊事務局審議役）

宮崎幸雄（一般社団法人協力隊を育てる会顧問）

小川一成（同参与）、杉下恒夫（同参与）

アンケート対象者：52名（連絡不能4名を除く）

アンケート回答者：43名（回答率82.7%）

【帰国隊員/青年支援プロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	プロジェクト名	対象活動	支援額
1	堤由貴子（23-2） 作業療法士 モンゴル	モンゴル・バヤンルギー県中央障害児センターにおける作業療法技術協力～機能訓練技術の向上と社会参加の促進～	協力活動	450,000
2	山本 歩（23-2） 村落開発普及員 ケニア	ケニアの半乾燥地域での収入向上 地域発展のための果物加工プロジェクト	協力活動	450,000
3	渡邊純子（19-3） 作業療法士 パキスタン	ネパールにおける障害児者の地域支援活動	協力活動	100,000
4	町川ちひろ（16-2） 生態調査 マダガスカル	マダガスカル国立動物園における標本制作 および標本管理に関する技術研修の実施	協力活動	420,000
5	出合祐太（19-4） 野球 ブルキナファソ	ブルキナファソ野球選手の 日本プロリーグチャレンジへの支援	協力活動	330,000
6	関原 誠（21-3） 感染症対策 パプアニューギニア	パプアニューギニア東部ツク州都市部における5歳未満時の発症時受療時の経験に関する医療従事者と母親の疾患観察研究	調査研究	410,000
7	大阪まるみ（22-4） 環境教育 パナマ	民芸品原料植物資源の枯渇問題への対応と支援の在り方～パナマ共和国山岳部コミュニティを事例として～	調査研究	410,000

	氏名（隊次） 職種 派遣国	プロジェクト名	対象活動	支援額
8	柳瀬奈保（20-3） 保健師 セネガル	エチオピア国ティグライ州における安全でない中絶に対する女性のヘルスケア希求行動に関する研究	調査研究	410,000
支援総額				2,980,000 円

4) 馬場医療・福祉奨学金（返済義務あり）

医療・福祉分野への就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付し支援した。

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

支援金額：1件につき上限 500,000 円（原則 2名まで）

申請件数：2件

支援件数：2件

支援総額：1,000,000 円

選考時期：選考委員会を帰国隊員・青年支援プロジェクトと併せて開催

選考委員：委員長▶松岡和久（一般社団法人協力の隊を育てる会常任理事）

委員▶宮崎幸雄（一般社団法人協力の隊を育てる会顧問）

小川一成（同参与）、杉下恒夫（同参与）

【馬場医療・福祉奨学金給付者一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	修学先名	支援額（円）
1	安藤沙世（23-8） 野菜栽培 セネガル	横浜中央看護専門学校における修学	500,000
2	秋山真輝（24-1） エイズ対策 ベリーズ	シェフィールド大学大学院（イギリス／公衆衛生学） における修学	500,000
支援総額			1,000,000 円

5) 「高木守道と小さなハートチャリティゴルフ」の共催

協力隊事業と当会活動の理解普及を図るとともに、ゴルフおよびオークションによる収益を「小さなハートプロジェクト」等に活用することを目的に、実行委員会によるチャリティゴルフ大会を共同開催した。

主 催 : ぎふ美濃ゴルフ倶楽部
全日本自動車産業労働組合総連合会愛知地方協議会
一般社団法人協力隊を育てる会

開催日 : 11月4日(火)

場 所 : ぎふ美濃ゴルフ倶楽部

寄付金 : 593,000円

参 加 : 足立会長



6) 各県育てる会活動助成

全国の育てる会に対し、協力隊事業の理解促進をはじめとする事業活動に対して助成金を給付した。

支援件数 : 40 組織

支援総額 : 3,081,300円

支援内容 : カレンダーによる広報活動、会員拡大活動、帰国報告会等のイベント開催

給付時期 : 2月27日(金)

【国際ボランティアを育成し、その経験を社会に還元する事業】

育成・社会還元事業

1) 全国育てる会事務局長会議

育てる会活動における情報共有と連携強化を目的として、「第25回開発教育全国集会 in 東京」「新春の集い」と併せて開催した。

日 時 : 1月22日(木) 9:30~15:00

場 所 : アジュール竹芝

テーマ : 「協力隊支援の輪を更に広げるために」

参加数 : 全国育てる会 39 県、JICA、JOCA、文部科学省等 計 55 名

【プログラム】

<青年海外協力隊 50 周年への取り組み>

①JICA 青年海外協力隊事務局

「50 周年を迎えた青年海外協力隊事業～現況と今後について」

②（公社）青年海外協力協会

「協力隊の映画製作について」

③（一社）協力隊を育てる会

「青年海外協力隊 50 年誌の制作について」

<各県組織の事例紹介>

①徳島県「産官学による青年海外協力隊

50 周年事業等への取り組み」

②山形県「自治体との連携による啓発活動/中小企業海外進出支援事業」

<文部科学省からの協力依頼>

「土曜日学習応援団について」

<社団からの活動報告>

①全国育てる会アンケート実施報告

②全国育てる会連携強化に向けた情報共有について



2) 各県組織との連携強化

全国組織としての活動を更に活発化させるため、情報と問題意識の共有を目的に総会等に出席した。

(1) 各県総会、家族連絡会などへの出席

	組織名	開催名	開催日	出席者
1	茨城県青年海外協力隊を育てる会	総会	5/25（日）	大石次長
2	北海道青年海外協力隊を育てる会	総会	5/31（土）	松岡常任理事
3	埼玉県国際青年を育てる会	総会	5/31（土）	奥永事務局長
4	岐阜県青年海外協力隊を支援する会	総会	5/31（土）	伊藤部長
5	（一社）青年海外協力隊・プラザ大阪	総会	6/13（金）	足立会長
6	福井県青年海外協力隊等を支援する会	総会	6/14（土）	奥永事務局長

	組織名	開催名	開催日	出席者
7	JICA 海外ボランティアひょうご応援団	総会	6/14 (土)	松岡常任理事
8	千葉県海外協力隊を育てる会	総会	6/28 (土)	奥永事務局長
9	青年海外協力隊神奈川県 OB 会	総会	6/29 (土)	奥永事務局長
10	愛知県青年海外協力隊を支援する会	総会	6/29 (日)	足立会長
11	広島県青年海外協力隊を育てる会	総会	6/30 (月)	足立会長
12	福島県青年海外協力隊を支援する会	総会	7/11 (金)	足立会長
13	千葉県海外協力隊を育てる会	家族連絡会	11/29 (土)	奥永事務局長
14	埼玉国際青年を育てる会	家族連絡会	1/31日(土)	奥永事務局長
15	ふじのくに静岡・協力隊を育てる会	家族連絡会	2/21 (土)	奥永事務局長
16	石川県青年海外協力隊を支援する会	北陸ブロック会議	2/21 (土)	伊藤部長

(2) 各県組織イベント、記念式典等への出席

①宮城県青年海外協力隊を支援する会「25周年記念式典」

日 時 : 6月14日(土) 17:15~
場 所 : 仙台市市民活動サポートセンター
出席者 : 足立会長

②岩手県青年海外協力隊を育てる会「30周年記念式典」

日 時 : 10月6日(月) 13:00~
場 所 : エスポワールいわて
出席者 : 松岡常任理事

③宮城県青年海外協力隊を支援する会「震災復興に携わる協力隊OV達 in 宮城 報告会」

日 時 : 11月1日(土) 16:10~
場 所 : 仙台市シルバーセンター
出席者 : 平井職員

④愛媛県青年海外協力隊を育てる会「設立 25 周年記念式典」

開催日 : 11 月 3 日 (月) 15 : 00～

場 所 : 東京第一ホテル松山

出席者 : 松岡常任理事

⑤協力隊を支援するやまがた地球家族の会「中小企業海外展開支援に関する情報交換会」

開催日 : 11 月 7 日 (金) 14 : 00～

場 所 : 山形大学工学部米沢街中サテライト

出席者 : 奥永事務局長

⑥JICA 二本松「開設 20 周年記念式典」

開催日 : 11 月 15 日 (土) 15 : 00～

場 所 : JICA 二本松訓練所

出席者 : 足立会長

⑦沖縄県青年海外協力隊を支援する会「設立 20 周年記念式典」

開催日 : 12 月 5 日 (金) 18 : 00～

場 所 : JICA 沖縄国際センター

出席者 : 足立会長

【各県組織会長の交代】

	組織名	前任	新任・役職名等
1	北海道青年海外協力隊を育てる会	南部 悟	金子正美 酪農学園大学教授
2	愛知県青年海外協力隊を支援する会	杉山道夫	坂本瑞夫 瀬戸市長根連区自治協議会会長
3	三重県協力隊を育てる会	アナンダ クマラ	高井邦彦 (株) TAKAI 代表取締役
4	福岡県青年海外協力隊を支援する会	川村 正	遠藤恭介 元 (株) 西部ガス代表取締役副社長
5	にいがた青年海外協力隊を育てる会	平山征夫	羽賀友信 長岡市国際交流センター長

【各県組織事務局長の交代】

	組織名	前任	新任・役職名等
1	岐阜県青年海外協力隊を支援する会	加藤 正	高橋 清 中日本自動車短期大学准教授
2	三重県協力隊を育てる会	荒木 薫	花井鍊太郎 鈴鹿ロータリークラブ会長
3	わかやま JICA ボランティア応援団	筒井 満	木村経多 (公財) 和歌山県国際交流財団常務理事

3) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数 : 7,000部/毎月

仕様 : モノクロ/タブロイド判/4ページ

構成 : 1面～最新トピックス、協力隊を育てた人たち(2015年2月～)

2面～国際協力時評、各県組織関連

3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4面～各種インフォメーション

別冊 : 「視察の旅」参加者を呼びかけるため「視察の旅別冊号」を発行(5月)

【主要記事一覧】

月号	国際協力時評など	主な記事
4月	齋藤富雄(ひょうご応援団団長)	JICA ボランティア募集開始
5月	織田峰彦(プラザ・大阪会長)	就職支援
6月	観堂義憲(とちぎ応援団会長)	第38回通常総会報告・グローバルスプラウト
7月	金子正美(北海道育てる会会長)	帰国隊員/青年支援プロジェクト申請開始
8月	坂本瑞夫(愛知県支援する会会長)	視察の旅特集
9月	高井邦彦(三重県育てる会会長)	にいがた育てる会エクアドル野球報告
10月	遠藤恭介(福岡県支援する会会長)	JICA 理事長表彰
11月	松岡和久(協力隊を育てる会常任理事)	読売国際協力賞特別賞受賞・支援事業結果報告
12月	第25回開発教育集会 in 東京告知	アフリカン料理のレシピ集
1月	新春鼎談 岩田公雄氏(読売テレビ特別解説員) / 織田峰彦氏(プラザ大阪会長) / 足立会長	
2月	協力隊を育てた人たち「末次一郎の原点」① 木苗直秀(ふじのくに静岡育てる会会長)	ふじのくに静岡・協力隊を育てる会設立
3月	協力隊を育てた人たち「末次一郎の原点」② 羽賀友信(にいがた育てる会会長)	協力隊50周年に向けて北陸ブロック懇談会

4) 帰国隊員による特産品等の販売促進

全国組織としてのネットワークを活かし、帰国隊員が関わる事業の商品等の情報をまとめ、Webや育てる会ニュースにて紹介するとともに、カタログギフトを中心とした販売を行った。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」(グローバルスプラウト)

概要 : 帰国隊員による特産品(食品・雑貨・化粧品等)のカタログギフト販売

販売実績：64件

広報展開：フェアトレードフェスタ等のイベント出展

- ・フェアトレードカフェ（5月22日）
- ・通常総会会場（5月23日）
- ・家族交流会会場（7月17日）
- ・渋谷東急（7月17日～23日）
- ・グローバルフェスタ（10月4日～5日）
- ・新春の集い会場（1月22日）



Webでの広報

- ・ページビュー 6,658/8ヶ月
- ・アクセス数 1,075/8ヶ月

facebookでの広報

- ・いいね数 358（3月31日現在）

5) 異業種との連携

異業種との交流や事業連携を機会あるごとに行い、他団体との相互補完関係を構築。人脈や情報の裾野を広げ事業ノウハウの蓄積に繋げるとともに、育てる会活動や協力隊事業の広報、入会促進、既存事業への支援・協力を図った。

(1) ツバル絵本プロジェクト

帰国隊員の実施するツバル環境啓発絵本の制作に対し、ライオンズクラブの支援を仲介し世界で初となるツバル語の書籍制作を実現させた。

- 支援者：ライオンズクラブ有志
- 支援額：1,000,000円
- 贈呈：2月17日（火）、ライオンズクラブ
有志がツバルに渡航し現地にて
1,000部を配布



(2) ライオンズクラブ会合への参加と協力要請

ライオンズクラブ有志による会合に参加し、育てる会活動及び協力隊事業を広報するとともに、帰国隊員の社会貢献活動等への支援を要請した。

- 主催：都内ライオンズクラブメンバー有志
- 日時：毎月1回
- 場所：婦人会館（東京都千代田区六番町）
- 概要：カレンダー、「小さなハートプロジェクト」等の広報及び支援要請

(3) 各種イベントへの参画

①ライオンズクラブ「第60回記念年次大会」

記念イベントでのブース出展

主 催 : ライオンズクラブ

330-A 地区キャビネット事務局

日 時 : 4月20日(日) 10:00~15:30

場 所 : 増上寺安国殿前広場(東京都港区)

概 要 : 帰国隊員支援活動の広報等

対 象 : 都内ライオンズクラブメンバー



②傳通院祭礼でのブース出展

主 催 : 小石川表町

日 時 : 9月13日(土)~14日(日)

場 所 : 寿経寺(東京都文京区小石川)

概 要 : エスニック料理を通じた児童や学生への途上国理解

対 象 : 小石川町地域住民、祭礼参加者等



③グローバルフェスタ JAPAN2013 でのブース出展

主 催 : グローバルフェスタ JAPAN2013

実行委員会

日 時 : 10月4日(土)~5日(日)

場 所 : 日比谷公園

概 要 : カレンダー販売、OBOGの特産品販売

対 象 : 国際協力関係団体、一般客等

備 考 : 最終日は雨天のため午前にて中止



④浅草「酉の市」でのブース出展

主 催 : 日本一大熊手奉納祭り実行委員会

(都内ライオンズクラブメンバー有志)

日 時 : 11月10日(月)、22日(土)

場 所 : 長國寺(東京都台東区千束)

概 要 : 「小さなハート基金」への募金、
帰国隊員による復興支援活動の紹介

対 象 : 「酉の市」参拝者等

募金額 : 64,575円



(4) 連合、JICA との意見交換会の開催

当会の働きかけにより、連合と JICA との連携について意見交換を行った。

日 時 : 11 月 13 日 (木)

場 所 : JICA 市ヶ谷

出席者 : 山根木晴久 (連合総合組織局総合局長、育てる会理事)

鈴木人司 (連合総合国際局国際局部長、協力隊 OB)

小川登志夫 (JICA 青年海外協力隊事務局長)

三次啓都 (JICA 青年海外協力隊事務局審議役)

足立会長、大石次長

概 要 : 協力隊事業の広報、民間連携ボランティア制度等の活用について意見交換

(5) 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会研修会での協力隊事業説明会

当会の働きかけにより、東京都障害者スポーツ協会の研修会にて JICA が協力隊事業の説明を行う機会を設けた。

日 時 : 12 月 17 日 (水)

場 所 : 東京都障害者総合スポーツセンター

概 要 : 障害者スポーツ指導員としての協力隊参加の協力依頼

対 象 : 東京都障害者スポーツ協会職員

参 加 : 勝又晋 (JICA 青年海外協力隊事務局計画課長)

近藤、辻 (同職員、国内協力員)

足立会長、大石次長

(6) 2015 年日本青年会議所京都会議でのブース出展

日本全国の青年会議所メンバーが参加する京都会議にブースを出展し、協力隊事業及び育てる会活動の広報を行った。

日 時 : 1 月 23 日 (金) ~ 25 日 (日)

場 所 : 京都国際会館

概 要 : 民間連携ボランティア制度、現職参加のパンフレット、クロスロード増刊号等の配布

対 象 : 日本全国の青年会議所メンバー

参 加 : 水野副会長、奥永事務局長

伊藤部長、藤澤職員



(7) 防災士研修センターによる防災士資格研修の促進

帰国隊員のキャリアアップに繋げるべく、資格研修の広報及び仲介を行った。

協働：防災士研修センター

概要：帰国隊員への広報、資格取得の推奨、研修申込の仲介等

仲介：11件

(8) スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局との意見交換

2020年のオリンピック・パラリンピックを目指した帰国隊員の社会還元について、意見交換を行った。

日時：2月9日（月）10：00～12：00

場所：独立行政法人日本スポーツ振興センター 情報・国際部内

概要：協力隊事業を通じたスポーツ活動の普及連携

参加：大石次長、平井職員

備考：当事務局ディレクターとして帰国隊員が活躍中

(9) 第86回メーデー中央大会出展説明会

4月29日（日）に開催されるメーデー中央大会にて、協力隊事業及び育てる会活動の広報を目的としたブース出展を行うため説明会に参加した。

日時：2月13日（金）15：00～

場所：連合本部3階会議室

参加：大石次長

備考：公益財団法人国際労働財団（JILAF）に帰国隊員が活躍中

【組織関連事業】

組織運営

1) 広報の強化

育てる会活動を広く周知するため、WebやSNSを活用した広報を更に充実させた。

(1) Webによる情報発信

①育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報などの提供

②帰国隊員による特産品やショップ情報の提供（54店舗を掲載中）

③各種支援情報の提供

アクセス数 : 15,489/年間

ページビュー : 97,357/年間

(2) Facebook を活用した隊員情報の収集

いいね数 : 512 件(3/31 現在)

- ①各県組織との情報共有
- ②カレンダー写真の募集
- ③報告会の講師、視察の旅引率者の募集
- ④人材紹介事業の登録者募集



2) 各種会議の開催

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動を推進することを目的に、各種会議等を開催した。

(1) 第 39 回通常総会

日時 : 5月23日(金) 14:00~19:30

場所 : 日本青年館 国際ホール

【プログラム】

<第 1 部 通常総会>

概要 : 平成 25 年度事業・決算報告、平成 26 年度事業計画・収支予算、役員に関する議案を承認

来賓 : 高木義明 (衆議院議員)

<第 2 部 講演会>

講師 : 山本保博 (東京臨海病院顧問、日本医科大学名誉教授)

テーマ : 「日本人だからこそできる国際支援

～国際緊急援助隊と青年海外協力隊 共に歩む日本の支援～

参加者 : 120 名

<第 3 部 交流会>

来賓 : 三原朝彦 (衆議院議員)

平口洋 (衆議院議員)

田沼隆志 (衆議院議員)

参加者 : 116 名



(2) 理事会

以下のとおり開催した。

回	日時	場所	議題
第1回	5月14日(水) 17:00~19:00	JICA市ヶ谷	平成25年度事業報告・決算報告(案) 平成26年度事業計画・収支予算(案)等
第2回	12月18日(木) 17:00~19:00	グランドヒル 市ヶ谷	平成26年度上半期報告 平成26年度下半期計画 等
第3回	3月19日(木) 17:00~19:00	JICA市ヶ谷	平成27年度事業計画・収支予算(案) 平成26年度下半期報告 等

(3) 常任理事会

以下のとおり開催した。

期	日時	場所	期	日時	場所
4月	4月16日(水) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷	11月	11月20日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷
5月	5月14日(水) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷	12月	12月11日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷
6月	6月18日(水) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷	1月	1月15日(木) 15:30~17:30	JICA市ヶ谷
7月	7月16日(水) 15:00~17:00	事務局	2月	2月19日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷
9月	9月18日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷	3月	3月19日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷
10月	10月16日(木) 15:00~17:00	JICA市ヶ谷			

(4) 顧問・参与会議

以下のとおり開催した。

回	日時	場所	議題
第1回	9月18日(木) 17:00~18:30	JICA市ヶ谷	育てる会の活動について 協力隊発足50周年記念事業について
第2回	12月18日(木) 17:00~18:30	グランドヒル 市ヶ谷	育てる会の活動について

3) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

昨年度に続き、「第25回開発教育全国集会 in 東京」「全国事務局長会議」の懇親会と併せて開催した。

日時 : 1月21日(水) 18:00~20:00

場所 : アジュール竹芝

来賓 : 逢沢一郎(衆議院議員)

小川勝也(参議院議員)

参加 : 91名



(2) 「JICA 理事長表彰受章を祝う会」

開催日 : 10月21日(火) 18:30~20:00

場所 : JICA 市ヶ谷大会議室

参加者 : 53名

備考 : 台風のため10月6日(木)より延期して実施

4) 各種表彰

(1) 春の叙勲

①受賞者 : 屋敷勇(福井県青年海外協力隊等を支援する会前会長)

賞名 : 旭日中綬章

(2) 秋の叙勲

①受章者 : 平山征夫(にいがた青年海外協力隊を育てる会前会長)

賞名 : 旭日重光章

②受章者 : 岩崎修(青年海外協力隊とちぎ応援団参与)

賞名 : 瑞宝小綬章

(3) 第10回 JICA 理事長表彰

①団体受賞 : 徳島県協力隊を育てる会(会長 : 井上俊吾)

団体受賞 : 社会福祉法人旭川荘(理事長 : 末光茂)

②個人受賞 : 門川大作(個人、京都市長)

個人受賞 : 小川圭子(個人、セネガル OG)

個人受賞 : 峰村史世(個人、マレーシア OG)

5) 慶弔関係

ご逝去 : 故清水正(岐阜県青年海外協力隊を支援する会前会長)

ご逝去 : 故村上勝彦(愛媛県青年海外協力隊を育てる会監事)

ご逝去 : 故川島知司 (青遺海の会副会長)

ご逝去 : 故武辺孝寛 (青遺海の会会員)

6) 人事関係

(1) 採用

- ①内島弘太 (総務部・嘱託職員・4月1日付)
- ②佐藤桃子 (クロスロード編集室・嘱託職員・4月1日付)
- ③清水彩香 (帰国隊員支援業務・嘱託職員・6月1日付)
- ④岡部繁勝 (クロスロード編集室・嘱託職員・6月1日付)
- ⑤平井美里 (事業部・嘱託職員・9月16日付)

(2) 退職

- ①山崎優子 (帰国隊員支援業務・嘱託職員・6月30日付)
- ②岡部繁勝 (クロスロード編集室・嘱託職員・8月31日付)
- ③坂部修一 (サポート事業部・嘱託職員・8月31日付)

(3) 辞任

- ①嶋田実名子理事 (公職就任のため11月末日付で辞任届の提出)

以上

【平成26年度事業報告附属明細書】

平成26年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成しない。

平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

青年海外協力隊が発足したのは昭和 40 年 4 月 20 日、本年度で 50 周年の節目を迎えました。

JICA 青年海外協力隊事務局を始め関連団体、各県育てる会組織等では各地で記念式典、イベント等を開催する予定であり、当会も積極的にこれに協力して参ります。

また、当会でも協力隊事業の軌跡を記念誌としてまとめるべく、準備を進めています。協力隊事業を創設し、守り継いできた方々の思いを受け止め、協力隊 50 年の成果を顕彰するとともに、これからの協力隊事業がどうあるべきか、広く社会で考えていく機運を盛り上げて参りたいと思います。

一方、協力隊事業を民間の立場から支えてきた協力隊を育てる会も設立 39 年目を迎えました。これまで「協力隊は日本の宝、育てて活かす社会を創る」をスローガンに全国での組織化も着実に進み、あと僅かを残すのみとなりました。今年度中に全県の組織化を達成し、次年度には育てる会設立 40 周年を全国の皆様と迎えたいと思います。

また、地域や歴史が異なる全国の育てる会の皆様とは、全国代表者会議やブロック会議、開発教育全国集会等を積極的に開催して情報と問題意識を共有して参ります。「協力隊に参加しやすい社会を創る」ため育てる会が果たすべき役割は何か、本来の目的を見失う事なく皆様とともに考えて参りたいと思います。

近年、当会では積極的に他団体との交流を進めておりますが、本年度も「内から外へ」を合言葉に他団体との交流をさらに進めて参ります。東京オリンピック、パラリンピックの開催が決まりスポーツの機運が高まる中、スポーツ・フォー・トゥモロー事務局や障害者スポーツ協会等との団体と連携を深め、スポーツを通じた協力隊員の貢献をアピールして参ります。また、連合主催によるメーデーにも初めて参加、これまで関わりの無かった企業や団体にも協力隊事業を知っていただき、会員拡大へと繋げて参りたいと思います。

平成 25 年度に当会は一般社団法人へと移行しましたが、これからも自由な発想を持って帰国隊員に寄り添った事業を展開、財政基盤を強化することで協力隊員たちから頼りにされる組織となるべく活動を進めて参ります。本年度、当会は以下の 3 つを重点事業として活動に取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【 重点事業 】

1. 全国組織化の完成と連携強化
2. 青年海外協力隊 50 周年・育てる会 40 周年への取り組み
3. 会員拡大と財政基盤の強化

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点事業

全国組織化の完成と
連携強化

協力隊50周年
育てる会40周年
への取り組み

会員拡大と
財政基盤の強化

理解促進事業

開発教育全国集会
の開催

家族交流会・帰国
報告会の開催

会員拡大と
財政基盤の強化

「視察の旅」の
企画実施

スタディツアーの
企画実施

訓練所視察会の企
画実施

カレンダーの
制作販売

助成事業

小さなハート
プロジェクト

小さなハート
基金

帰国隊員/青年支
援プロジェクト

馬場医療・福祉奨
学金

地域の育てる会活
動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

Web・SNSの
積極的活用

受託事業

「クロスロード」
編集発行業務

帰国隊員支援業務

海外派遣研修業務

総務活動

各種会議の開催

公的資格の取得

各種交流会の
開催

平成 27 年度事業計画

【 重点事業 】

1. 全国組織化の完成と連携強化

■今年度中に全国組織化を完成させる。

- 1) 京 都：目標➤年度内の設立
- 2) 神奈川：目標➤年度内の設立

■全国育てる会と情報・課題の共有を更に深める。

- 1) 社団広報媒体の積極的活用（育てる会ニュース、Web、facebook 等）
- 2) ブロック懇談会の開催

①「関東甲信越・東海・北陸・近畿ブロック懇談会」

日 時：7月4日（土）

場 所：金沢都ホテル（石川県金沢市）

②「北海道・東北ブロック懇談会」

日 時：10月17日（土）

場 所：東北地域

③「中四国・九州ブロック懇談会」

日 時：9月19日（土）

場 所：九州地域

3) 各県記念行事等への参加

①石川県青年海外協力隊を支援する会設立 20 周年記念式典

日 時：7月3日（金）13：30～15：00

場 所：石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

4) 新春の集い・全国育てる会代表者会議の開催

日 時：1月25日（月）～26日（火）

場 所：アジュール竹芝（東京都港区）

■全国育てる会の諸活動に対して側面支援を行う。

- 1) 現職参加、民間連携ボランティア、帰国後採用等の促進活動支援
- 2) 組織運営へのフォローアップ
- 3) メーリングリストによる情報共有
- 4) 活動やイベント情報等の広報・拡充

2. 青年海外協力隊 50 周年・育てる会 40 周年への取り組み

- 青年海外協力隊発足 50 周年を記念した活動を展開する。
 - 1) 「青年海外協力隊 50 周年記念誌」の発行（今秋）
 - 2) 全国育てる会による記念行事の積極的支援（通年）

- 協力隊を育てる会発足 40 周年（2016 年）へ向けた準備を進める。
 - 1) 40 周年記念実行委員会の設置
 - 2) 40 周年記念式典の企画及び開催準備
 - 日 時 : 2016 年 5 月（予定）
 - 場 所 : 東京都内
 - 3) 育てる会関係者、支援者への感謝状授与者の選定
 - 4) 40 周年記念冊子の制作

3. 会員拡大と財政基盤の強化

- 「内から外へ」を合言葉に他団体との連携を広げ、会員及び事業拡大に繋げる。
 - 1) 日本青年会議所、連合、経営者協会等、経済団体との協働
 - ① 第 86 回メーデー中央大会
 - 主 催 : 連合第 86 回メーデー中央大会実行委員会
 - 日 時 : 4 月 29 日（水祝）
 - 場 所 : 代々木公園
 - ② 2016 年度京都会議
 - 主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
 - 日 時 : 2016 年 1 月末
 - 場 所 : 国立京都国際会館
 - 2) ライオンズクラブ、ロータリークラブ等、NPO/NGO 団体との協働
 - 3) スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム等、スポーツ関連団体との協働
 - 4) 文部科学省（「土曜日学習応援団」、「地域力強化プラン」等）との協働

- サポート事業（就活・婚活・終活）を起爆剤として会員及び事業拡大に繋げる。
 - 1) 帰国隊員の人材紹介
 - 2) 帰国隊員の婚活支援

3) 福利厚生サービスの普及

■ 帰国隊員が関わる事業の紹介を通じて会員及び事業拡大に繋げる。

- 1) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売
- 2) 帰国隊員が関わる事業の発掘および紹介

■ JICAをはじめ他省庁、自治体などの事業受託を通じて事業拡大に繋げる。

- 1) 海外研修事業の継続（山形県庄内町青少年海外研修事業、JICA フィールド・スタディ・プログラム等）
- 2) 人材育成事業の発掘および新規受託

【理解促進事業】

1) 開発教育全国集会

協力隊事業を通じた国際理解と人材育成、ならびに協力隊経験の社会還元を広く市民に周知する場として開催する。

(1) 第26回開発教育全国集会「クローズアップ青年海外協力隊 北陸地域で活躍するOB・OGたち」

開催日：平成27年7月3日（金）15:30～17:30

場所：石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

テーマ：クローズアップ青年海外協力隊

備考：石川県青年海外協力隊を支援する会設立20周年記念式典、ブロック懇談会を併催

(2) 第27回開発教育全国集会 in 静岡

開催日：平成28年1月23日（土）

場所：静岡市内（予定）

備考：ふじのくに静岡・協力隊を育てる会設立1周年記念として開催予定

2) 家族交流会・帰国報告会

協力隊事業の理解普及を目的に、協力隊家族をはじめ将来協力隊参加を志す学生、また社会貢献団体などを対象に帰国隊員の活動報告会を機会あるごとに企画、開催する。

(1) 家族交流会

対象：協力隊家族ならびに協力隊参加希望者

開催：年2回程度

(2) 帰国報告会

対象：社会貢献団体や企業団体関係者

開催：適宜

(3) 隊員活動についての寄稿

掲載紙：FEC NEWS（月一回発行）

発行：民間外交推進協会

テーマ：「協力隊に見る日本の若者の姿」

帰国隊員が現地の活動について執筆

3) 「視察の旅」の企画・実施

協力隊家族や関係者などを中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる。

企画国 : アフリカ・中南米・中東・アジア・大洋州の隊員派遣国

実施 : 5月以降確定

4) スタディツアーの企画・実施

協力隊家族を対象とした「視察の旅」に一般の参加希望者層を加え、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに支援の輪を広げる。また、異文化・国際理解教育などに関心のある中学、高校、大学、専門学校などを対象にしたコースも適宜企画する。

(1) 一般向けスタディツアー

主催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

対象 : 全国の支援者、一般の参加希望者

開催 : 平成 28 年 2 月中旬 (予定)

場所 : 東南アジア地域

(2) 学生向けスタディツアー

山形県庄内町青少年育成事業

主催 : 山形県庄内町、同教育委員会

対象 : 山形県庄内町の中学生・高校生を対象とした海外研修の企画運営

実施 : 12 月 (予定)

備考 : その他各教育機関 (中学・高校・大学・専門学校) にも働きかけを行う

5) 訓練所視察会の企画・実施

JICA の「訓練所から世界が見える」訪問プログラムを活用し、グローバル人材や異文化・国際理解教育などに関心のある企業や教育機関を対象に、JICA 二本松または駒ヶ根訓練所の体験・視察会を企画・実施する。

(1) 学生向け訓練所視察会

主催 : 日本外国語専門学校

対象 : 同校学生

開催日 : 平成 28 年 2 月～3 月 (1泊2日)

概要 : 語学ならびに異文化授業体験、帰国報告会開催、帰国隊員活動視察等

(2) 企業・団体向け訓練所視察会

主催 : 各企業・団体と一般社団法人協力隊を育てる会の共催

対象 : 各企業・団体の管理職等

開催 : 適宜

6) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から写真を提供いただき、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツールとして制作・販売する。

テーマ : 熱い思い

仕様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) /オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 13,000 部

制作 : 5月～8月

販売 : 9月中旬 (予定)

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援する。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高める。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円

支援件数 : 10 件程度

募集期間 : 通年

審査 : 審査員により随時実施

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災の復興支援活動をはじめ、その経験をもとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動に対し支援を行う。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円

支援件数 : 3 件程度

募集期間 : 通年

審査 : 審査員により随時実施

3) 帰国隊員/青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円

支援総額 : 2,700,000 円

募集期間 : 7月1日 (火) ~8月31日 (日)

審査選考 : 選考委員会にて10月頃実施

4) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

審査選考：帰国隊員/青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

5) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：1組織につき上限 80,000 円

給付時期：夏～秋（予定）

対象事業：以下の3事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体などの支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 8,000 部/毎月

仕様：モノクロ/タブロイド版/4ページ

構成：1面～最新トピックス、「協力隊事業を支えた人たち」（50周年記念連載）

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介（国際協力時評）

3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させる。

(1) Web による情報発信

- ①全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告など）の提供
- ②帰国隊員が関わる事業やその商品情報の提供

- ③各種支援情報の提供
- (2) メーリングリストを活用した派遣中隊員及び帰国隊員の情報収集
 - ①カレンダー写真の募集
 - ②帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集
 - ③人材紹介事業の登録者募集
 - ④各県組織からの情報提供
 - ⑤会員団体からの情報提供

【受託事業】

1) JICA 受託事業の継続実施

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、育てる会活動とも密接な関わりを持つ JICA 委託業務の継続受託を目指す。

- (1) 2015～2017 年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務
 - 委託元 : 独立行政法人国際協力機構
 - 業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集、発行 (年 15 号/増刊 3 号含む)
 - 契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)
- (2) 2015～2017 年度 JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援業務
 - 委託元 : 独立行政法人国際協力機構
 - 業務 : 各種証明書発行の事務手続き、現職参加促進に向けた啓発及び調査等
 - 契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)
- (3) 2015～2017 年度 JICA ボランティア事業広報記事作成業務 (単価契約)
 - 委託元 : 独立行政法人国際協力機構
 - 業務 : JICA ボランティアに対する興味、関心を拡大させるための WEB サイト作成
 - 入札 : 6 月 30 日 (金)
- (4) 2015 年度大学生フィールド・スタディ・プログラム運営事務局業務
 - 委託元 : 独立行政法人国際協力機構
 - 業務 : 日本大学生のグローバル人材育成を目的としたアジアでのフィールドスタディ演習
 - 実施国 : 未定
 - 入札 : 未定

2) その他受託事業の継続実施

帰国隊員ならびに全国育てる会のネットワークを活かして、青年の海外派遣をはじめとする人材育成業務の継続受託を目指す。

(1) 平成 27 年度海外派遣研修の企画・運営業務

委託元 : 独立行政法人環境再生保全機構

業務 : 環境保全を志す学生及び NGO を対象とした海外研修の企画運営

入札 : 6月1日(月)

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確かな組織運営ならびに事業活動を推進することを目的に、各種会議などを開催する。

(1) 第 40 回通常総会

開催日 : 5月27日(水) 14:00~19:30

場所 : JICA 市ヶ谷国際会議場

【プログラム】

第 1 部 通常総会 (14:00~16:00)

第 2 部 特別講演会 (16:00~17:30)

講師 : 岩國哲人 (元衆議院議員、元島根県出雲市長)

演題 : 「世界の潮流、日本のうねり~青年海外協力隊への期待~」

第 3 部 交流会 (18:00~19:30)

(2) 理事会

年 3 回の開催 (5 月、12 月、3 月)

(3) 常任理事会

原則として毎月開催

(4) 委員会

支援、事業、総務の 3 委員会を必要に応じて適宜開催

(5) 顧問・参与会議

原則として年 2 回程度開催

2) 公的資格の取得

個人情報保護に準じたプライバシーマークを継続取得する

事前調査 : 7 月 (予定)

現地審査 : 8 月 (予定)

3) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

昨年度に続き、「全国育てる会代表者会議」の懇親会と併せて開催する

日時：平成28年1月25日（月）18：00～（予定）

場所：アジュール竹芝

以上

平成 27 年度収支予算

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
事業活動収入				
1 基本財産運用収入	5,000	10,000	△ 5,000	
2 入会金収入	120,000	260,000	△ 140,000	
3 会費収入	5,800,000	7,300,000	△ 1,500,000	
4 研修会費収入	6,690,000	3,530,000	3,160,000	視察の旅、訓練所視察等
5 広告料収入	2,700,000	4,800,000	△ 2,100,000	育てる会ニュース
6 手数料収入	15,200,000	8,866,000	6,334,000	記念誌、会員発送代行
7 カレンダー販売収入	6,000,000	5,700,000	300,000	
8 帰国隊員等支援助託収入	17,000,000	17,619,000	△ 619,000	2015.5月入札
9 加入編集業務等受託収入	61,442,000	67,742,000	△ 6,300,000	広報記事作成受託含む
10 加入会員差込	870,000	917,000	△ 47,000	
11 その他受託収入	5,800,000	19,767,000	△ 13,967,000	海外研修事業
12 助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13 寄付金収入	3,000,000	2,000,000	1,000,000	小さなハート
14 雑収入	1,000,000	1,568,000	△ 568,000	ハート、カワガキ等
経常収益合計	128,627,000	143,079,000	△ 14,452,000	
事業活動支出				
15 給料手当	46,967,000	48,218,000	△ 1,251,000	職員12名
16 退職共済掛金	1,080,000	960,000	120,000	
17 福利厚生費	7,272,000	7,213,000	59,000	社会保険等
18 旅費交通費	9,512,000	12,308,000	△ 2,796,000	クロス取材、各県組織等
19 通信運搬費	5,970,000	6,132,000	△ 162,000	
20 会議費	3,330,000	1,513,000	1,817,000	代表者、ブロック会議、50周年
21 修繕費	1,583,000	975,000	608,000	
22 印刷製本費	14,099,000	20,288,000	△ 6,189,000	クロス、カレンダー等
23 賃借料	6,092,000	6,042,000	50,000	家賃、OA機器
24 光熱水費	624,000	624,000	0	
25 保険料	183,000	130,000	53,000	
26 諸謝金	2,920,000	3,445,000	△ 525,000	クロス原稿等
27 消耗品	350,000	539,000	△ 189,000	
28 租税公課	4,810,000	4,802,000	8,000	
29 支払負担金	3,227,000	2,964,000	263,000	会計士、社労士、PM等
30 支払助成金	8,850,000	7,500,000	1,350,000	ハート、OB支援、各県助成、
31 寄付金支出		500,000	△ 500,000	
32 委託費	6,998,000	12,349,000	△ 5,351,000	加入校正、デザイン
33 雑支出	4,760,000	6,577,000	△ 1,817,000	
経常費用合計	128,627,000	143,079,000	△ 14,452,000	
事業活動収支差額	0	0	0	